

事業所における自己評価結果(公表)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○○○ ○	○○○ ○	○	・日によって空間が狭いと感じる日がある。家具の配置を変えて広々と部屋を使えるように工夫している ・基準は満たしているが、更衣スペースなど、改善と工夫が必要と思われる
	② 職員の配置数は適切であるか	○○○ ○○○ ○	○		・熱意のある学生ボランティアさんも多数いらっしゃって助かっています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○○○ ○○	○○	○	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○○○ ○○	○○○		・業務の目標設定は、全職員間での共通理解が十分とはいせず、情報の共有に関して改善が必要と考える
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○○○ ○○	○○○		・以降の把握は実施しているが、十分とはいえない。生の声をしっかりと聞き取る工夫が必要を感じている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○○○ ○○○ ○○	○		・分からぬ
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○○○ ○○	○○○		・第三者評価にて「児童を対象とした救命講習や嘔吐物処理など、実践的なリスク対応への学びの機会を持つことを期待する」とされているが、十分に実施できていない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○○○ ○○○ ○	○		・常勤職員には、必要な研修の場が確保されているが、その内容の、現場へのフィードバックが不十分であると感じる。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○○○ ○○○ ○	○		・保護者のニーズが優先で、子どものニーズをしっかり聞き取っているとは、いえない状況があり、改善が必要である

	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○ ○	○○○ ○○○ ○		・アセスメントの適時見直しが不十分と感じている
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○○○ ○	○○○ ○		・個々の職員に任されている部分が大きく、プログラムの立案に、チーム全体がかかわっているとは、言い切れない現状である。 ・個別に立てることが多いが、季節に合わせた行事などはチームで実施している
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○○○ ○○○ ○○			・スタッフの方によって個性豊かなレクリエーションが実施されてとても良いと思います。 ・集団活動に関しては、交代制で担当しているので、様々な活動が提供されている
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○○○ ○○○ ○		・活動スペースの問題などあり、長期休暇中の活動には、工夫が必要と感じている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○○○ ○○○ ○	○		・計画立案において、子ども一人ひとりの状況に対応できるような配慮が不十分である
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○○○ ○○○ ○	○		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○○○ ○○○ ○○			・様々な専門性を持ったスタッフによる振り返りや打ち合わせを通じてより良い支援を目指しています。 ・振り返りは形骸化しつつある部分があり、意識の共有の場であるという再認識が必要である
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○○○ ○○○ ○○	○		・記録はとっているが、支援の検証や改善につなげられているかは不十分と感じている
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○○○ ○	○○○	○	・モニタリングが充分に実施できているとはいえず、改善が必要である

	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○○○ ○	○○○ ○		・わからない
関係機関や保護者との連携	⑰ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○○○ ○○○ ○	○		・常勤のことわざでわからない
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○○○ ○○○ ○	○		・常勤のことわざでわからない
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○○○	○○○ ○○		・医ケアの児童を受け入れたことがまだない ・医ケア児がいないためわからない。 ・分からぬ
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○○○ ○○	○○	・書類の情報共有は時々あるが、口頭などの密な情報共有はできていない。新一年生を受け入れる時など意識して動いていきたい ・わからない
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○○	○○○ ○○○		・まだ卒業した子がいない ・わからない
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○○○ ○○	○○○		
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○○	○○○ ○○○	・公園などに外出することは増えた。交流までにはいたらない ・わからない
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○○	○○○ ○○	○	・わからない

	㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○○○ ○○○ ○	○		・共通理解を持つてご家庭と、保護者の方の勤務その他の都合で、十分に共通理解を持ちにくいご家庭とがある。情報伝達の方法に改善が必要と考える。
	㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○○○	○○○ ○	○	・実施できる職員体制が整っていないので、改善が必要である。 ・わからない
保護者への説明責任等	㉛ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○○○ ○○○ ○	○		
	㉜ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○○○ ○○○	○○		
	㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○○○ ○○○ ○	○		
	㉞ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○○○ ○○	○○○		・子どもが苦情を挙げてよいのだという体制整備が不十分である
	㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○○	○○○ ○	○○	・ホームページやブログがあるが、十分に更新されない現状がある。改善の工夫が必要である。
	㉛ 個人情報に十分注意しているか	○○○ ○○○	○○		・ボランティアへの提示範囲など、明確な基準がない。改善が必要である。
	㉜ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○○○ ○○○	○○		・子ども本人の意思形成のための工夫など、もう少し改善が必要と感じる。
	㉝ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	○○○ ○○○	・わからない

非常時等の対応	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○○○ ○	○○○ ○		<ul style="list-style-type: none"> 元々あるマニュアルをブラッシュアップ中 マニュアルはあるが、周知に関しては、工夫が必要と考える。
	(39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○○○ ○○	○○	○	<ul style="list-style-type: none"> 実施しているが、全児童に対して、定期的とは言えない現状がある。改善が必要である。 これからする
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○○○ ○○○	○○		<ul style="list-style-type: none"> どのような行為が虐待にあたるのか、定期的な確認が、不十分であると感じている。 わからない
	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○○○	○○○ ○	○	<ul style="list-style-type: none"> 不十分であると感じている。身体拘束の行為の共通理解も、不十分である。 わからない
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○○○	○○○ ○○		<ul style="list-style-type: none"> わからないが、おやつなどは持参をお願いしている
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○○○ ○○	○○○		<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットと事故報告の区分けが不十分で、ヒヤリハットが、支援の向上につながっているとは言えない現状である。